

## 令和2年度第2回茨城県男女共同参画審議会

### 1 日 時

令和2年9月24日（木）10時00分～12時00分

### 2 場 所

茨城県市町村会館2階 201会議室

### 3 出席者（敬称略，五十音順）

阿部 重典（(株)茨城放送 代表取締役社長）  
安藤 隆子（茨城県女性団体連盟会長）  
飯田 昭子（連合茨城女性委員会副委員長）  
大塚 昌弘（茨城県学校長会副会長）  
長田 佳世（茨城県産婦人科医会理事）  
清山 玲（茨城大学人文社会科学部教授）  
高輪 忍（(株)常陽銀行 執行役員人事部長）  
中村 香代（(株)わかさキャリアコンシェルジュ代表取締役）  
中本 義信（コラソン法律事務所 弁護士）  
仲山 郁夫（NPO法人ウィメンズネット「らいず」会員）  
俵田 憲諭（茨城労働局雇用環境・均等室長）  
山形 芙美（日立商工会議所女性起業家交流グループみゅーずnet 会長）  
横田 祥（(有)横田農場 米粉スイーツ加工部長）

13名

### 4 内 容

#### (1) 開会

#### (2) 議事

##### ①茨城県男女共同参画基本計画（第4次）の素案について

#### (3) 閉会

### <配布資料>

- 資料1 第1回審議会の御意見への対応
- 資料2 骨子案の修正について
- 資料3 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）（素案）の概要
- 資料4 茨城県男女共同参画基本計画（第4次）（素案）
- 資料5 パブリックコメントについて

### 5 結 果

- ・開会にあたり、茨城県県民生活環境部 松浦次長が挨拶を行った。
- ・議事について、事務局から説明を行った後、議論が行われた。主な意見は下記のとおり。

### <主な意見>

※記載は発言順

- キャリア教育について、「キャリアパスポート」という冊子を用いて、小学1年生から高校3年生までの12年間を通し、自分を見つめ将来の生き方を考えていくという取組を始めている。
- 社会へ出ていく子供達が、生活保護や雇用調整助成金などの制度をあまりに知らなすぎる。「社会のルール」と書いてあるが、労働法とか社会保障を含むというように括弧書きで入れてもらおうと思う。本当は家計も入れた方がよい。

- この計画にキャッチフレーズがあったほうが良いのでは。
- 基本理念は、「どういう社会を実現するか」ということ。目指すべき社会が分かるような記載にしてはどうか。
- 生産年齢人口の減少、どの位現役世代が減るのかというデータを入れてはどうか。
- 要介護になりやすい後期高齢者がどれくらい増えていくかというデータを入れると、今後、介護と仕事の両立が切実な課題になってくるということを表すことができる。
- 仕事を持つ介護者とフルタイム介護者の男性と女性では働き方が違うことが分かるような記載を追加してはどうか。
- 有配偶者か未婚かで差がこれだけあるという2015年のデータがあるので出した方がよい。
- 「暴力」という言葉について、一般的には「暴力」というと身体的なものをイメージする方が多いので、精神的な暴力もあるということを分かるようにしていただきたい。
- 児童虐待と女性が受ける被害の問題は関連があることを分かるようにした方がより良い。
- 「教育を受けることができる社会づくり」について、教育を受ける権利は法律で決まっているので、「受けることができる環境づくり」などに変更してはどうか。
- 「あらゆる暴力の根絶」の支援の部分で、今後の方向性としては、加害者に対する教育・支援があってもよいのではいか。
- 女性リーダーの育成あたりに認定女性農業者という言葉を入れてはどうか。
- 就労時や就学時に月経に関する問題で困難を抱える方は結構多い。「月経困難症など月経に関する正しい知識」、「体のしくみ」などの文言を加えた記載を検討いただきたい。
- この種の計画の難しさは、主体者は誰なのか、誰がどこまでやるのかということ。
- カタカナ用語は分かりやすく記載していただきたい。